

第49回 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム「教育機関DXシンポ」
2022年4月15日（金） 一般発表②

看護師基礎教育における LMS活用事例と今後の展望

LMS : Learning Management System



小池 啓子
Koike Keiko

埼玉医科大学短期大学 看護学科 講師 / 熊本大学教授システム学研究センター 連携研究員

k_koike@saitama-med.ac.jp

k_koike@SMU/RCiS.2022.4.15.NII

一本日報告させていただくこと

1. 本学におけるLMS活用の変遷2020年～2022年

2. LMSでできること-本学での成功事例-

3. 2022年度始動. 平時になっても使える

オンラインの要素を探す “今後の取り組み”

人材育成について一緒に研究しませんか！ 熊本大学教授システム学研究センター



平時に戻るまでの遠隔
授業のデザイン7か条



1. 対面授業をやらなくても立派な通学制課程
2. 無理はしない
3. 同じ形ではなく同じ価値を追求する
4. 順序を変える
5. 大切なのは学生が学び続けること
6. 非同期で学生の学習活動を支える
7. 平時になっても使えるオンラインの要素を探す
→平時に戻った後にはICT教育利用の本格化を

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

鈴木克明先生/熊本大学大学院教授システム学専攻 教授
2020年4月NIIご講演資料の一部
コロナ以降の高等教育デザイン：何を目標して何を残し何を始めるのか

- 所在地：埼玉県入間郡
- 埼玉医科大学系列の短期大学
- 3年課程
- 定員100名/学年
- 卒業要件修得で
看護師国家試験受験資格取得
- 母子看護学専攻（1年課程）を有する



- HOME
- 大学概要
- 本学の特色
- キャンパスライフ
- 学生サポート



[HOME](#) [大学概要](#) [情報公開](#) [入試情報](#) [求人情報](#) [医学関連情報](#) [埼玉医科大学雑誌](#) [関連法人・学校](#) [アクセス](#)

医学部
 保健医療学部
 大学院
 附属図書館
 医学教育センター
 医学研究センター
 国際交流センター
 医療人育成支援センター
 地域医学推進センター
 ゲノム医学研究センター
 アレルギーセンター
 教職員・学生健康推進センター
 短期大学
 看護学校

大学院
 総合医療センター
 かわごえクリニック
 国際医療センター
 訪問看護ステーション
 初期研修
 医科 研修医募集
 歯科 研修医募集
 専門医研修
 埼玉医科大学医師会
 埼玉医科大学 職員
 キャリアアップセンター

参考：看護師教育の内容と授業形態

2020年度から現在までの傾向：“対面対人での学習が効果的” “技術習得が目標” とされている科目はLMS活用に消極的な傾向にあった

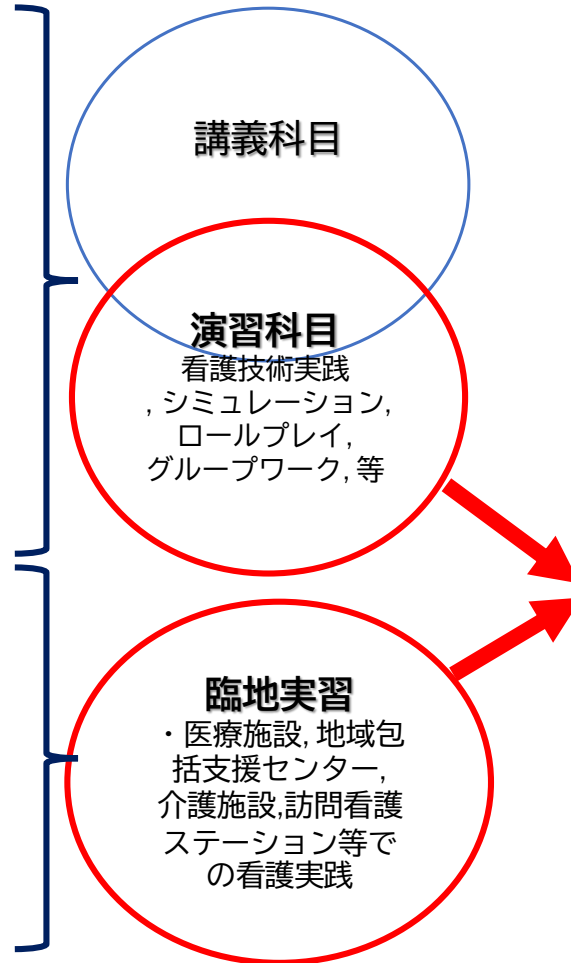
看護師教育内容（2022年度改正箇所 赤字）

教育内容		単位数
基礎分野	科学的思考の基礎	14
	人間と生活・社会の理解	(+1)
専門基礎分野	人体の構造と機能	16
	疾病の成り立ちと回復の促進	(+1)
	健康支援と社会保障制度	
専門分野	基礎看護学	11
	地域・在宅看護論	6
	成人看護学	6
	老年看護学	4
	小児看護学	4
	母性看護学	4
	精神看護学	4
	看護の統合と実践	4
	臨地実習	23
	基礎看護学	
	地域・在宅看護論	
	成人看護学	
	老年看護学	
	小児看護学	
母性看護学		
精神看護学		
看護の統合と実践		

合計 102 (+5)

小池担当領域

看護師教育の授業形態



学習成果の5分類

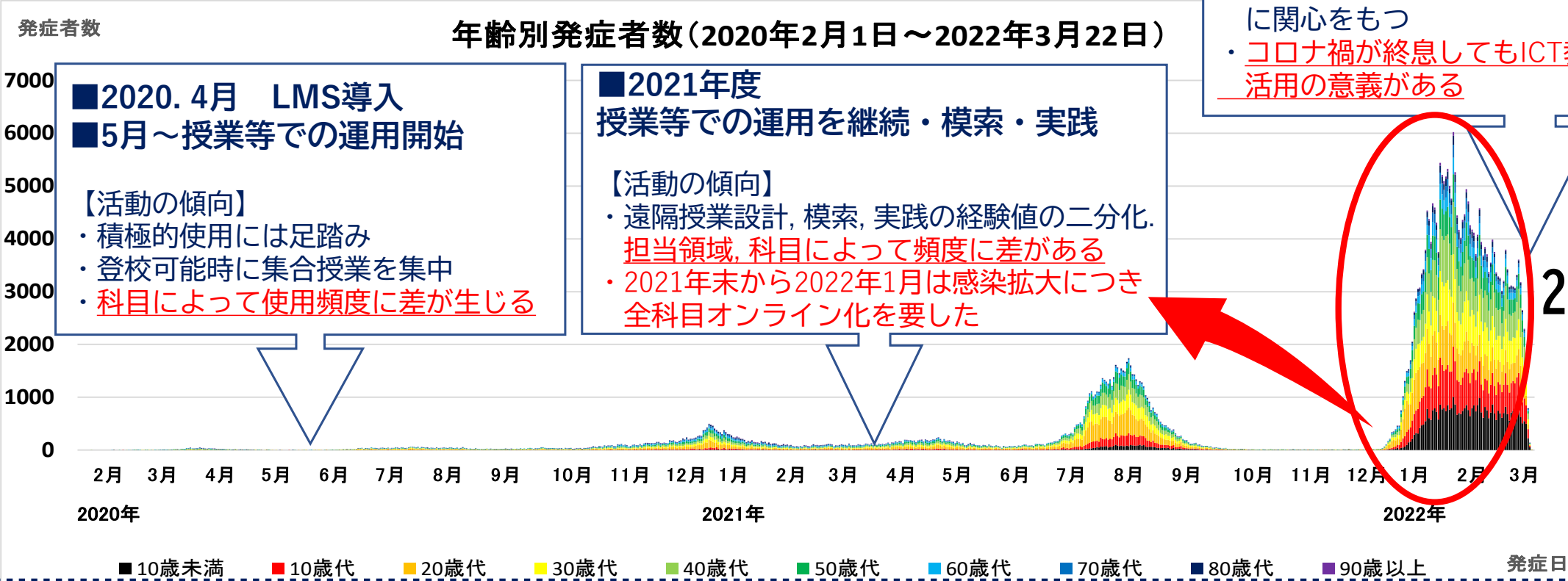
	学習成果	成果の性質	課題の例	行動動詞
認知的領域	言語情報	指定されたものを覚える / 宣言的知識 / 再生的学習	県庁所在地 憲法の前文 九九, 英単語	述べる, 言う, 説明する, あげる
	知的技能	規則を未知の事例に適用する力 / 手続き的知識	2桁の足し算 学習課題の分類 書き換え問題	応用する, 適用する, 分類する, 区別する, 解く
	認知的方略	自分の学習過程を効果的にする力 / 学習技能	語呂合わせ記憶術 検算	採用する
運動領域	運動技能	筋肉を使って身体を動かす / コントロールする力	自動車の運転 パソコンのタッチ, タイピング 目玉焼きを作る	行う, 実演する
情意領域	態度	ある物事や状況を選ぼう / 避けようとする気持ち	環境に優しい生活の習慣 引き続き学習しよう と思うこと	選ぶ 自発的に〇〇する 拒否する 他の活動を選ぶ

出典：鈴木克明監修. インストラクショナルデザインの道具箱101. 北大路書房. 2016

1. 本学のLMS活用の変遷 2020年～2022年

埼玉県のCovid-19陽性者数推移と照らして

図：埼玉県ホームページ掲載図に、本学の推移を挿入して小池が作図
<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/covid-19.html>



■ 2020. 4月 LMS導入
 ■ 5月～授業等での運用開始

【活動の傾向】

- ・ 積極的使用には足踏み
- ・ 登校可能時に集合授業を集中
- ・ 科目によって使用頻度に差が生じる

■ 2021年度
 授業等での運用を継続・模索・実践

【活動の傾向】

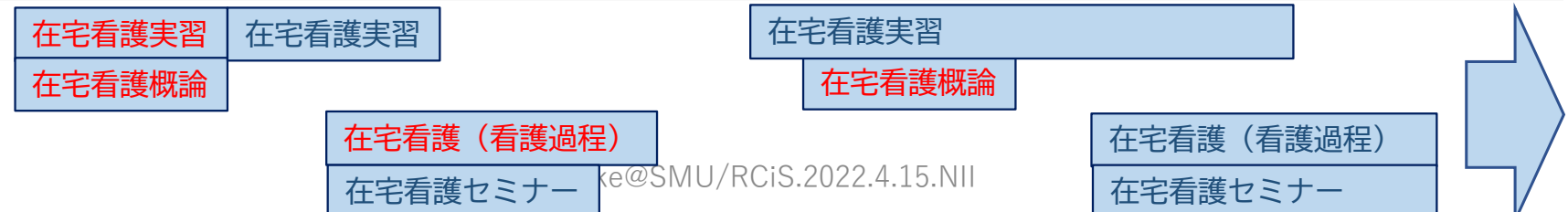
- ・ 遠隔授業設計, 模索, 実践の経験値の二分化.
担当領域, 科目によって頻度に差がある
- ・ 2021年末から2022年1月は感染拡大につき
 全科目オンライン化を要した

■2022年度～LMSを活用するICT教育利用の必要性を認識し継続利用へ

- 【行動と認識の傾向】
- ・ LMS活用に積極的だった教員はその質向上を探究
 - ・ 消極的だった教員は効果的なLMS活用の方略に関心をもつ
 - ・ コロナ禍が終息してもICT教育利用, LMS活用の意義がある

2022.4現在

小池担当領域
 科目のLMS活用
 完全活用：赤字
 部分活用：青字



・ 学習成果○
 ・ 学習過程の脱落者なし
 ・ 学生受容

2. LMSでできること-本学での成功事例のパターン

科目全体を代替した例

自主自律学習促進の狙いを含む毎次のルーティーン

講義
在宅看護概論
在宅看護実習

学習内容と方法をコンパクト
に動画収録・配信
WebClassに動画リンクと
学習教材実装
繰り返し視聴可



学習内容を
WebClass
各機能で



学習目標達成度を
WebClass
テスト機能で
学習漏れがないように

学習過程の一部を代替した例

集合・対面学習を効率的にすることを目的に選択的に使う

演習
例えば
訪問看護実践演習
研究計画書作成
母性看護技術
小児看護技術

講義・演習の
事前学習をWebClassで



集合・対面授業



事後学習課題を
WebClassで

臨地実習
例えば
在宅看護実習
老年看護実習
小児看護実習
母性看護実習

臨地実習オリエンテーション
を動画収録・配信
WebClassにリンク明示
繰り返し視聴可

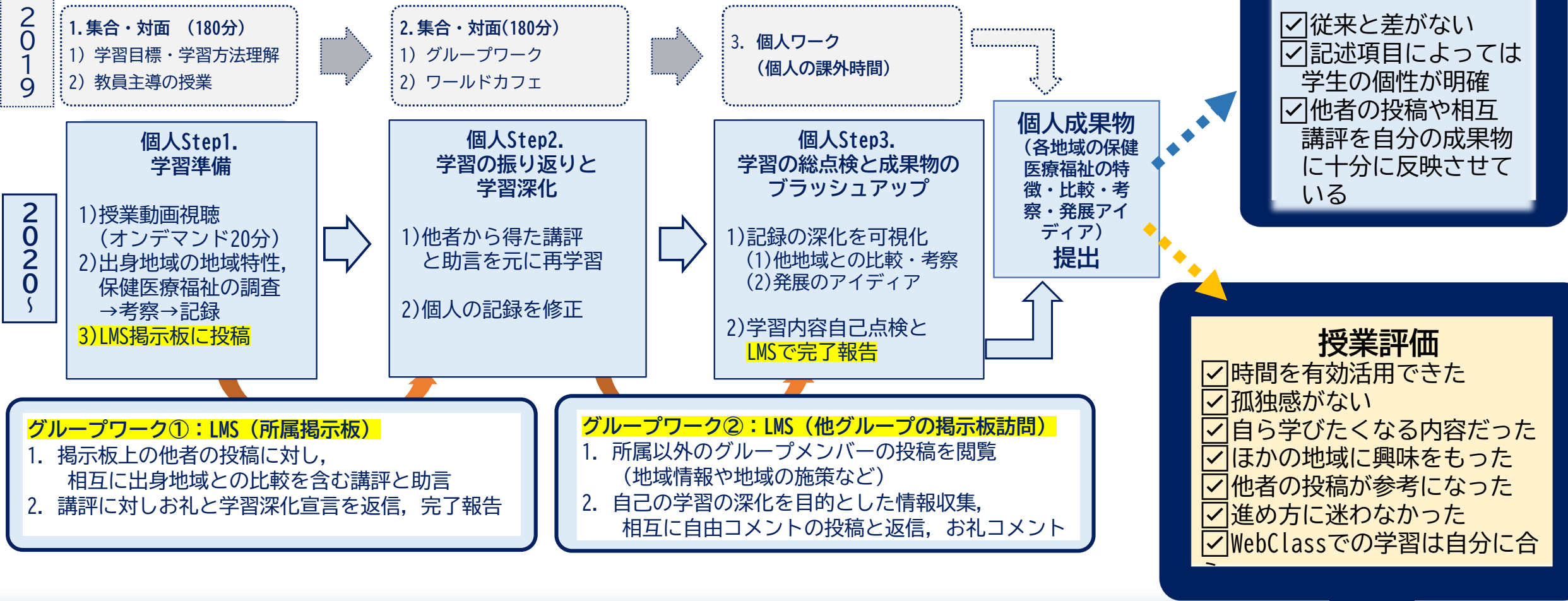


実習準備の自己点検や
関連国家試験問題を
WebClass
テスト機能で



臨地実習

LMS活用成功例：個人ワーク→LMS掲示板で相互学習→ 個人成果物提出 / 在宅看護概論



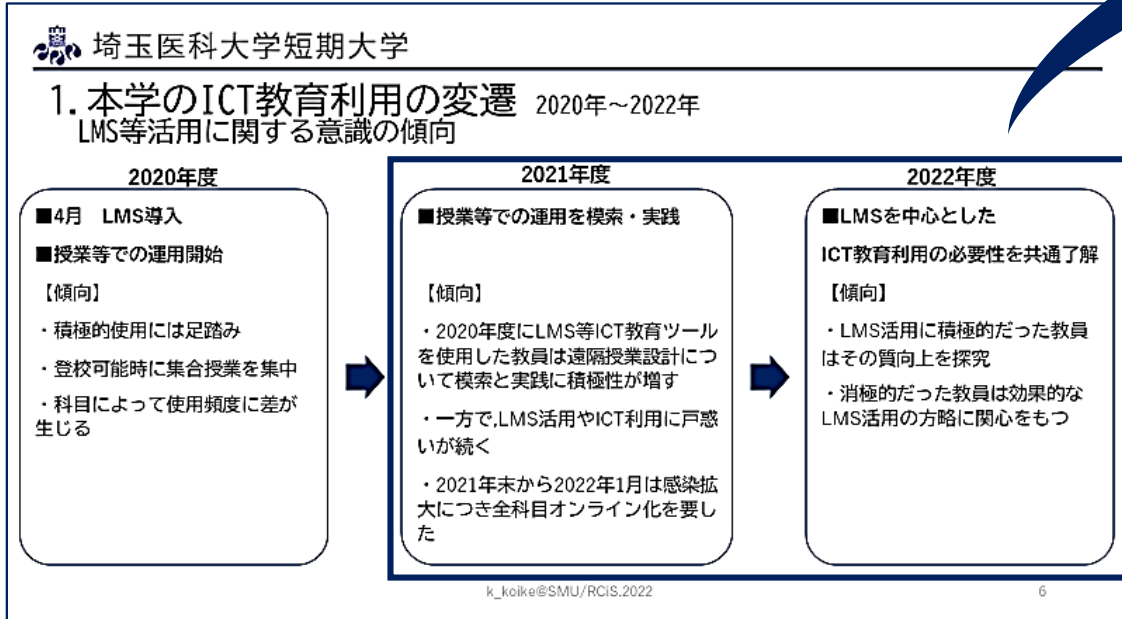
* 要は授業設計 *

<この単元の設計ポイント>

- ・ 学習目標と評価の明確化
- ・ 次年度の臨地実習に関連させた学習内容強調
- ・ 学習プロセスの明示
- ・ 個人成果発展が目的のグループワーク
- ・ 非同期 (学生の学びやすさ, 自主自律行動誘導)
- ・ 学生相互講評と助言による学習過程活性化
- ・ 掲示板投稿と成果物完成に向けた活動チェックリストあり

3. 平時になっても使えるオンラインの要素を探す取り組みへ

2020年4月から現在までに



✓ 経験と失敗, 成功から, LMS, ICT教育利用に関する各教員の暗黙知と実践記録(ログ)が蓄積している

✓ 経験や暗黙知は教員個々に異なる

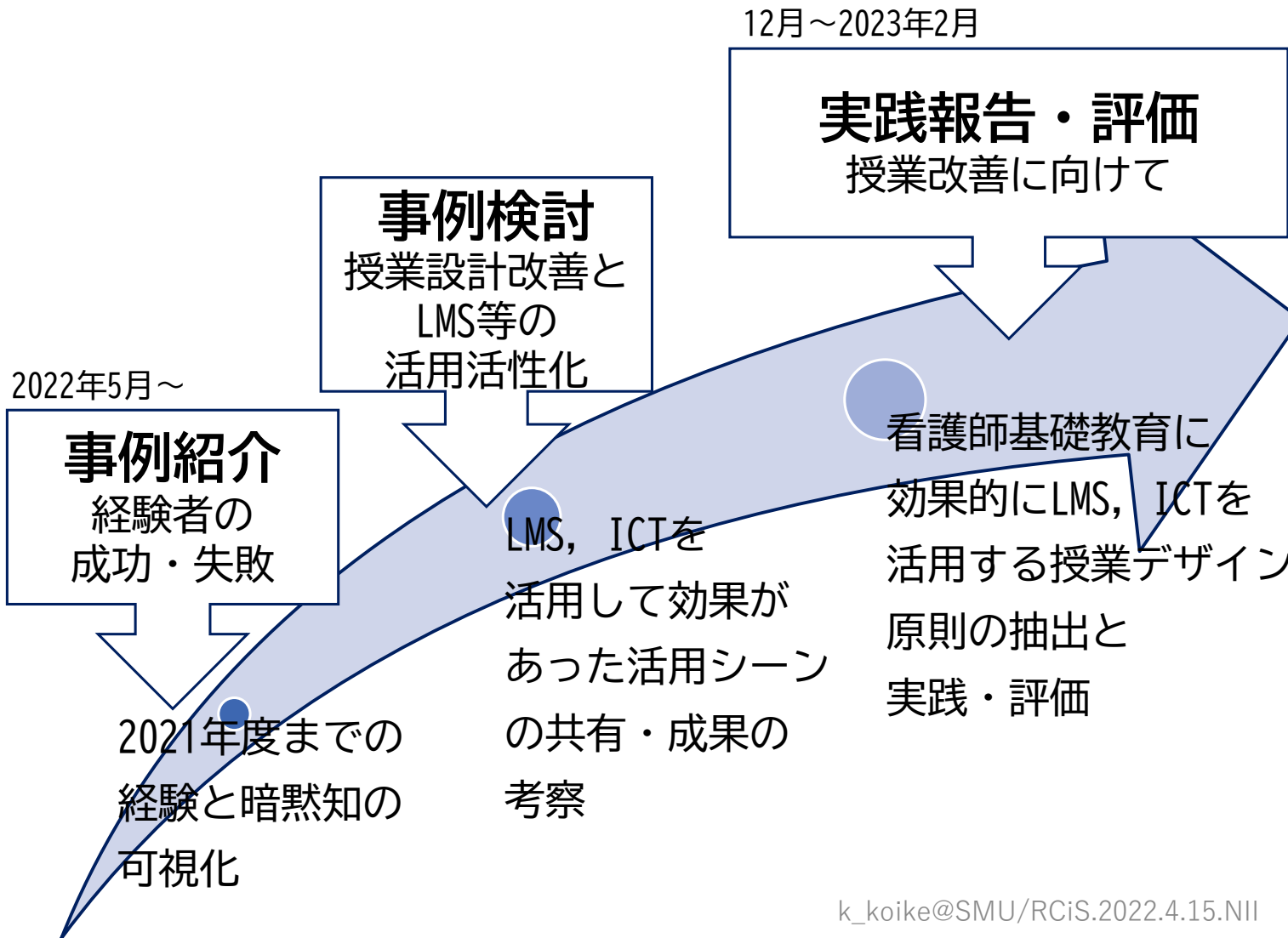
✓ 効果的なLMS活用, ICT教育利用の学習ニーズが高まっている

✓ コロナ禍が終息してもICT教育利用の継続は必要という認識が高まってきた

次にめざすべきことは、
看護師教育の“教育内容と方略の質向上” “ICT教育利用の継続”
学生が効率よく学び、学習成果を出す。自律を支える“授業設計”が肝要

—平時になっても使えるオンラインの要素を探す取り組み—

看護師基礎教育におけるLMS, ICT教育利用継続のために —本学の今後の取り組み—



①教員個々のICT活用と授業設計スキルの向上・改善と実践をめざす

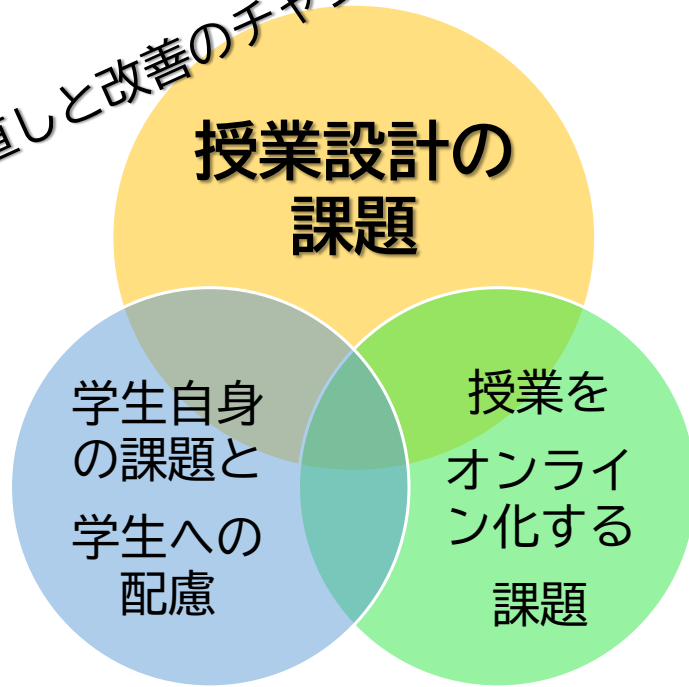
コロナ禍を機にICT教育利用を経験したことは好機であるにとらえてブラッシュアップ！

②効果的・効率的・魅力的な看護師基礎教育の発展へ

本学に導入されているWebClassを中心に、ICT教育利用を継続して効率よく学び成果を出す学習支援を実行

おわりに・・・看護師基礎教育とICT. この3つの側面をクリアすればうまくいきそう

見直しと改善のチャンス!



-今後の取り組みに向けて-

「オンラインだと学生がサボるのでは・・・」とか,
「本当に学習しているか見えないから学習成果がわからない!」とか,
「LMSを使った授業は学力が落ちるのでは??」という
声を時々聞いたり, ご質問をいただきます.

単に“LMSを使ってみた”, “自分が使ってみたいからやみくもに様々なICTを使ってみた”
“ICTを使うことそのものを目的化してしまう”場合は, そういう結果になるかもしれません・・・

そこで,

インストラクショナルデザインの観点からこう主張します.

「授業方法や道具がどうであれ, 学習支援の根幹にあるものは“授業設計”である」

～看護師基礎教育に従事する方へのメッセージ～

コロナ禍を機に, 遠隔授業に“悩んだ” “困った”, の経験を, 従来の看護師基礎教育の振り返りと, 改善のきっかけとして, 効果的にICT教育利用をしまりましょう!



本シンポジウムでの報告の機会をいただきありがとうございます。

また、御指導、御協力、ご支援いただいております

埼玉医科大学関連各部署のみなさまと、

熊本大学教授システム学研究センターの先生方、連携研究員のみなさまに、

感謝申し上げます。

2022年4月15日 小池 啓子

<参考書籍・論文>

- John M. Keller 著. 鈴木 克明 監修, 翻訳. 学習意欲をデザインする：ARCSモデルによるインストラクショナルデザイン. 2010
- 小池啓子. LMSを活用した訪問看護実習のデザインと学生の学び. 神戸看護学会誌Vol.5, No. 1. 2021
- Linda B. Nilson 著. 美馬 のゆり 監修. 他. 学生を自己調整学習者に育てる：アクティブラーニングのその先へ. 北大路書房. 2017
- 根本淳子. 鈴木克明. ストーリー中心型カリキュラムの理論と実践-オンライン大学院の挑戦とその舞台裏-. 東信堂. 2014
- 日本eラーニングコンソーシアム. eラーニング活用ガイド. 東京電機大学出版局. 2007
- 鈴木克明. 教材設計マニュアル：独学を支援するために. 北大路書房. 2004
- 鈴木克明. 研修設計マニュアル：人材育成のためのインストラクショナルデザイン. 北大路書房. 2015
- 鈴木克明監修. 市川尚. 根本淳子編著. インストラクショナルデザインの道具箱101. 北大路書房. 2016
- 鈴木克明. 美馬のゆり他. 学習設計マニュアル「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン. 北大路書房. 2018

<教育改善に役立つオンラインプログラム> ※本編で紹介した成功事例はこちらのプログラムで授業改善をしています

□教育改善スキル修得オンラインプログラム（科目デザイン編， 自律学習支援編） / 熊本大学教授システム学研究センター
<https://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/announcements/announcements-education-onlineprogram-20220408/>